

第1回 第5次札幌市バリアフリー基本構想検討部会 会議要旨	
開催日時	令和2年2月26日(水) 10:00~12:00
開催場所	札幌市役所本庁舎12階5号会議室
出席委員	13名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進会議委員 出席9名、欠席2名 ・ 外部委員 出席4名、うち代理2名
議題	<ol style="list-style-type: none"> (1) 部会長、副部会長選出及び部会名の決定について (2) 新・札幌市バリアフリー基本構想の概要と改定の背景について (3) 基本理念の整理 (4) 重点整備地区の追加・拡大 (5) 今後のスケジュールについて (6) バリアフリーに関する意見交換
議事概要	<p><u>(1) 部会長、副部会長選出及び部会名の決定について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 部会長、副部会長の選出を行った。 ◇ 部会名は「第5次 札幌市バリアフリー基本構想検討部会」とした。 <p><u>(2) 新・札幌市バリアフリー基本構想の概要と改定の背景について</u></p> <p><u>(3) 基本理念の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事務局より、議題(2)、(3)について説明を行った。 ◇ 委員から議題(3)に係る意見が寄せられ、次回の検討部会で方向性などを提案することとした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「共生」は漠然としているので、本人主体で考える・当事者の視点でともに考える、というような当事者性を打ち出してはどうか。 ・ 物理的な障壁の解消と的確なサービス、心のバリアフリーを一体に考えた「生きる」「はたらく」「暮らす」という観点はどうか。 ・ ユニバーサルデザインの考え方を広く訴える必要がある。 ・ 一人でも楽しく暮らせるような「気持ち良い」「楽しい」「明るい」といったわかりやすいワードがいいのではないか。 ・ 具体性があるような、イメージしやすいような理念がいい。 ・ 札幌市らしいコンセプトがきちんとわかるような言葉がいい。 <p><u>(4) 重点整備地区の追加・拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事務局より、議題(4)について説明を行った。

- ・現在の53の重点整備地区について、バリアフリー化がどれだけ進捗しているか確認したい。
- ・事務局から提案のあった3地区を追加することについて異議なし。

(5) 今後のスケジュールについて

◇ 事務局より、議題(5)について説明を行った。

- ・次回の検討部会は5月か6月を予定。
- ・次回の議題は、今回の議論を踏まえ事務局で検討した理念案を提案すること、生活関連施設について議論を深めること、重点整備地区それぞれの進捗状況を説明することを予定している。

(6) バリアフリーに関する意見交換

◇ バリアフリーに関して普段感じていることについて意見交換を行った。

- ・車いす用を乗せることのできるタクシー車両が最近普及しているが、車両サイズが小さいため、車いすを乗せると窮屈になってしまう。そこで、もう少し使い勝手のいいUDタクシーを製作できないか、国やメーカーに要望しているところ。
- ・タクシーの乗務員を対象に、UDタクシーに車いす利用者を乗せる実演などを行うバリアフリー教室を開いている。せっかく作った車両で、少しずつ改良されているので、教室は継続していきたい。
- ・東京オリパラの関係で札幌市がウクライナとの共生社会ホストタウンに登録された。また、オリパラレガシーを残そうということで小学校学習指導要領に心のバリアフリーが加わった。このような動きを契機として新しいバリアフリー基本構想を進めていくということも考え方のひとつではないか。
- ・交通のあり方について、MaaSなどの新しい考え方で移動というサービスとして世の中が動き出している。バリアフリーの立場でそういった交通をどう考えていくのかという視点も今後重要になってくる。
- ・札幌市自立支援協議会で大規模なアンケートを取っていて、不便なところだけでなく、これができるありがたいという声も拾っている。基本構想の改定にあたって、当事者の満足度という視点も大事になってくる。